

用 語	意 味
あ	
赤ちゃんへの気持ち質問票	育児の負担や赤ちゃんへのさまざまな気持ちを評価するために開発された自己記入式質問票です。エジンバラ産後うつ病自己質問票（EPDS）と併せて使用することにより、母親の育児不安や産後うつ病などを早期に発見し支援につなげます。
一般診療所	診療所のうち歯科診療所を除いた施設をいいます。
一般病床	病床の種別の1つで、精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床以外の病床をいいます。
医薬分業	患者の診察、薬剤の処方を医師または歯科医師が行い、医師・歯科医師の処方箋に基づいて、薬剤の調剤を薬剤師が行うという形でそれぞれの専門分野で業務を分担することによって、医療の質的向上を図ることをいいます。
医療安全対策加算	医療安全相談窓口の設置および専従または専任の医療安全管理者を配置している医療機関に対する診療報酬の加算です。
医療安全対策地域連携加算	医療安全対策加算の基準を満たし、他の医療機関との連携により医療安全対策の評価を受ける医療機関に対する診療報酬の加算です。
医療機関	医療法で定められた「医療提供施設」（病院、診療所、介護老人保健施設、介護医療院、調剤を実施する薬局、助産所）をいいますが、狭義においては、医師、歯科医師等が医療行為を行う施設である病院、診療所をさす場合もあります。本医療計画における「医療機関」は、狭義の医療機関である、病院および診療所としています。
医療的ケア児	医学の進歩を背景として、NICU等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な障がい児のことをいいます。
医療ネットみえ	さまざまな病気や専門外来、所在地等、目的に合った県内の医療機関をホームページで探すことができる医療情報システムです。また、医療機関がパソコンから入力した診療の可否についての情報（応需情報）に基づき、受診可能な医療機関を24時間365日案内しています。
医療保護入院	精神保健福祉法に基づき、医療および保護のために入院を要すると精神保健指定医によって診断された場合、本人の同意がなくても家族等の同意により精神科病院に入院となることをいいます。
医療DX	保健・医療・介護の各段階において発生する情報やデータを、保健・医療や介護関係者の業務やシステム、データ保存の外部化・共通化・標準化を図り、住民の予防を促進し、より良質な医療やケアを受けられるように、社会や生活の形を変えることをいいます。 ※DX：Digital Transformationの略。
インスリン	膵臓から分泌されるホルモンで、血糖を下げる働きがあります。

インフォームド・コンセント	患者が医療行為等の内容について医師等から十分な説明を受け納得した上で、その医療行為の方針を選択・合意することをいいます。
ウェルビーイング	個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念です。
栄養ケア・ステーション	食・栄養の専門職である管理栄養士・栄養士が所属する、地域密着型の拠点です。地域住民をはじめ、医療機関、自治体、健康保険組合、民間企業、保険薬局などを対象に管理栄養士・栄養士を紹介するとともに、用途に応じたさまざまなサービスを提供します。
エジンバラ産後うつ病自己質問票（EPDS）	産後のうつ病のスクリーニングを行うため考案された10項目からなる自己記入式質問票です。 ※EPDS：The Edinburgh Postnatal Depression Scaleの略。
おいないねっと三重	三重県医師確保プロジェクトに基づき、三重県庁ホームページ内に設置された三重県の医師確保の取組を紹介する総合サイトです。
往診	医師が居宅等に赴き診察することで、患者の求めに応じて臨時で行う場合をいいます。
オープンシステム	地元で妊産婦の健康診断を担当した医師・助産師が、分娩時に連絡を受け、周産期母子医療センター等の連携病院に出向き、出産に対応する仕組みをいいます。
オンライン資格確認等システム	医療機関・薬局の窓口で、直近の医療保険や自己負担限度額等の確認、特定健診等の情報や診療・薬剤情報を閲覧できるシステムをいいます。
か	
介護職員処遇改善加算	介護職員のキャリアパスや職場環境等の要件を満たした介護事業所が算定できる、介護職員の処遇改善を図るための介護報酬の加算です。
感染症病床	病院の病床のうち、感染症法に規定する1類感染症、2類感染症、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症の患者および新感染症の所見がある方を入院させるための病床をいいます。
カンファレンス	院内で実施する症例検討会（患者の治療方針等の検討会）をいいます。
危険ドラッグ	麻薬・覚醒剤・大麻等には指定されていませんが、妄想、幻覚、幻聴、精神への悪影響や意識障害等の悪影響をおこすおそれがある製品をいいます。
機能強化型在宅療養支援診療所	在宅医療を支えるために24時間の連絡体制や往診体制、看護体制、緊急入院体制が整っていることや、看取りについて報告や実績の基準を満たした上で指定された診療所をいいます。
機能強化型在宅療養支援病院	在宅医療を支えるために24時間往診・訪問看護、緊急入院等ができ、在宅医療を担当する医師数、看取りについての報告や実績の基準を満たした上で指定された病院をいいます。また、200床未満または半径4km以内に診療所がない地域に存する病院であることが要件です。

キャリア形成卒前支援プラン	地域枠入学者等の地域医療へ貢献する意思を有する学生を対象とし、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援をすることを目的として策定するプランです。
キャリア形成プログラム	医師不足や医師の地域偏在の解消と、専門医の取得といった医師の能力開発・向上の両立を図るため、医学部卒業後9年間のキャリア形成期間を定めたもので、診療科や就業先となる医療機関別にさまざまなコースを示したものです。
キャリアサポート制度	自治医科大学を卒業し義務年限を終了した医師を県職員として採用し、過疎三法の指定区域内にある公立病院やへき地診療所などに派遣する制度です。 ※平成17(2005)～平成21(2009)年度までは、ドクタープール制度といました。
救急医療情報システム	→ 医療ネットみえ
救急告示医療機関	救急隊により搬送される傷病者に関する医療を担当するため、「救急病院等を定める省令(昭和39年2月20日厚生省令第8号)」に基づき、県知事の認定を受けた医療機関をいいます。
救急ワークステーション	医療機関内に設置され、救急隊員が医師や看護師らの指導のもと、処置の補助(救急患者に対する問診などの基本技術の習得や心肺停止状態の傷病者に対する静脈路確保、薬剤投与)などの研修をするとともに、救急出動の要請時には、医療機関から直接出動する仕組みをいいます。
急性期	病気を発症し始めの時期で、症状の比較的激しい時期をいいます。また、災害医療においては、発災直後の医療資源と医療需要のバランスが崩れた時期をいいます。
救命救急センター	急性心筋梗塞や脳卒中、重度の外傷・熱傷等の複数の診療科にわたる重篤な救急患者を、24時間体制で受け入れる第三次救急医療施設のことをいいます。
教育入院	その疾患をより深く理解し、日常生活における注意やケアを自らできるよう、教育を行うことを目的とした入院をいいます。
緊急時訪問看護加算	利用者またはその家族等から電話等により看護に関する意見を求められた場合に常時対応できる体制にある事業所において、当該体制にある旨を説明し、利用者の同意を得た場合の介護報酬の加算です。
緊急措置入院	精神保健福祉法に基づき、精神保健指定医の診察の結果、医療および保護のために「入院させなければ精神障害のために自身を傷つけ又は他人に害を及ぼすおそれがある」と認めるときは、県知事または指定都市の市長がその者を精神科病院に72時間に限りて入院させることができることをいいます。
グループホーム	認知症高齢者や障がい者などが、専門スタッフの支援を受けながら、小規模住宅で少人数の共同生活を行う住まいのことをいいます。
結核病床	結核の患者を入院させるための病床をいいます。

な

血漿分画製剤	血漿中に含まれる血液凝固因子、タンパク質を抽出して精製したものをいいます。使用目的に応じて、アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤、血液凝固因子製剤などがあります。
健康日本 21	平成 12（2000）年から開始された国民健康づくり運動（21 世紀における国民健康づくり運動）のことです。「健康増進法」に基づき、「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針（平成 15 年厚生労働省告示第 195 号）」に、国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向や国民の健康の増進の目標に関する事項等が定められています。令和 5（2023）年に全部改正（「健康日本 21（第 3 次）」）されました。
原疾患	その病状（病気）が生じた原因となる、もとの病気のことをいいます。
合計特殊出生率	15～49 歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女性がその年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当します。
災害医療コーディネーター	災害時において医療・救護活動が円滑に行われるよう、内部・外部の調整を行う人のことで、主な役割として医療救護班の配置調整等があります。阪神・淡路大震災の教訓を経て、兵庫県で全国に先駆け設置され、全国に導入が進められています。
災害医療支援病院	災害拠点病院の機能の補完や支援を目的に、三重県の独自制度として指定しています。
災害拠点精神科病院	災害時においても、医療保護入院、措置入院等の精神科医療を行うための診療機能を維持し、被災地からの精神疾患を有する患者の受入れや D P A T の派遣に係る対応等を行うなど、災害時における精神科医療を提供する上での中心的な役割を担う病院です。
災害拠点病院	災害時に災害医療圏域で災害医療の中心的な役割を担う医療機関として、各圏域に 1 施設以上を設置しています。
災害支援ナース	被災地等に派遣され、地域住民の健康維持・確保に必要な看護を提供するとともに、看護職員の心身の負担を軽減し支えることを行う看護職員を指し、厚生労働省医政局が実施する災害支援ナース養成研修を修了し、同局に登録された方をいいます。
災害時小児周産期リエゾン	災害時に、搬送が必要な小児・妊産婦の情報を収集し、被災地内の適切な医療機関への搬送をコーディネートするとともに、災害医療コーディネーターや全国のリエゾンと連携し、被災地外への搬送方法、受入体制の情報を収集することにより、新生児や妊産婦に対して医療を継続するための適切な搬送をコーディネートする役割を担います。
在宅人工呼吸指導管理料	人工呼吸を行っている入院中の患者以外の患者に対して、在宅人工呼吸に関する指導管理を行った場合に算定します。
在宅当番医制	夜間や休日に、比較的症状の軽い患者の対応を病院や診療所が輪番で行う制度をいいます。

在宅療養後方支援病院	200床以上の病院であって、在宅医療を提供する医療機関と連携し、24時間連絡を受ける体制を確保するとともに、連携医療機関の求めに応じて入院希望患者の診療が24時間可能な体制を確保する病院をいいます。
在宅療養支援診療所	在宅医療を支えるために24時間往診・訪問看護等ができる診療所をいいます。
在宅療養支援病院	在宅医療を支えるために24時間往診・訪問看護等ができ、200床未満または半径4km以内に診療所がない地域に存する病院をいいます。
三次救急	二次救急では対応できない重篤な患者に対する高度な救急医療をいいます。
歯科診療所	診療所のうち歯科医業を行うものをいいます。
自助グループ	慢性疾病、依存症、被虐待体験など、何らかの生活課題や問題を抱えた人や家族などが、グループメンバーの体験談、想い、情報、知識などをわかちあうことで、気づき、癒し、希望が得て、解決しようとするグループのことをいいます。
自治医科大学義務年限	自治医科大学の卒業生が医師免許を取得後、県が指定するへき地医療機関等に義務的に勤務する期間のことで、在学年数の1.5倍の期間とされています。
自閉症・発達障害支援センター	発達障がい児・者およびその家族の福祉の向上を図ることを目的とし、保健、医療、教育、労働など関係機関と連携し、発達障がい児・者およびその家族からの相談に応じて総合的に支援を行う地域の拠点をいい、三重県では2か所設置しています。
周産期死亡率	出産千あたりの年間周産期死亡（妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡を加えたもの）数をいいます。
充実段階評価	救命救急センターの機能強化や、質の向上を促し救急医療体制の強化を図る目的で厚生労働省が毎年実施している全国調査（評価）をいいます。点数に応じてS評価からC評価の4段階で評価がされます。
巡回診療	巡回診療（予防接種も含む）は、その実施の方法に種々の態様のものがみられますが、いずれも一定地点において公衆または特定多数人に対して診療が行われるものとされています。
障害保健福祉圏域	広域的な相談支援体制等の整備や関係者間のネットワークの構築等により、市町だけでは対応が困難な課題に広域的に対応するため、福祉事務所や保健所の管轄区域等を勘案しつつ、複数市町を含む広域圏域（県内9障害保健福祉圏域）として設定しています。
助産師出向支援導入事業	都道府県において助産師出向システムを運用するための、一連の取組の総称です。
助産師出向システム	助産師の助産実践能力の強化、偏在解消等を目的として、現在の勤務先の身分を有しながら他施設で助産師として働くシステムです。

「女性が働きやすい医療機関」認証制度	女性の医療従事者が働きやすい職場環境づくりの促進を図るため、平成 27 (2015) 年度に全国で初めて三重県が創設した認証制度をいいます。妊娠時・子育て時の当直免除、短時間勤務に係る制度整備や保育施設の整備など、勤務環境の改善に積極的に取り組んでいる医療機関を県が認証します。
自立支援医療 (精神通院医療)	精神疾患の治療のために、指定医療機関に通院されている患者を対象に、通院医療費の自己負担を軽減する制度です。
人工透析	腎臓の機能を代替する装置を用いて、血液を体外に導いて老廃物を除き、ナトリウムやカリウムなどを補給して体内に戻す医療行為をいいます。
新生児聴覚スクリーニング検査	難聴の早期発見と診断、療育につなげるための、新生児期に行われるきこえの簡易検査です。
身体合併症	精神疾患に併せ、心臓疾患など身体疾患の治療が必要である状態のことをいいます。
心肺蘇生	呼吸や心臓が停止またはそれに近い状態にある傷病者に対して心肺機能を補助するために行う救命処置で、状態を確認しながら、人工呼吸や心臓マッサージ等を行うことをいいます。
診療所	医師または歯科医師が、医業または歯科医業を行う施設で、19床以下の入院設備 (有床の場合) を備えるものをいいます。
診療報酬	保険医療機関等が行った保険医療サービスに対する対価として保険者等から受け取る報酬をいいます。診療報酬は点数であらわれ、1点は10円です。
スティグマ	一般に「恥・不信用のしるし」「不名誉な烙印」を意味し、いわれのない差別や偏見の対象となることです。糖尿病患者に対するスティグマを放置すると、糖尿病患者が社会活動で不利益を被るのみならず、治療に向かわなくなるという弊害をもたらす可能性があります。
精神科救急急性期医療入院料届出病院	急性期の精神疾患患者について、早期に治療を行い、早期に地域に戻ることを目的とした病院のことをいいます。
精神病床	病院の病床のうち、精神疾患を有する患者を入院させるための病床をいいます。
セカンドオピニオン	患者が治療を受けるにあたって主治医以外の医師に求めた意見、または意見を求める行為をいいます。
セミオープンシステム	地元の産科診療所等が妊産婦の健康診断を行い、周産期母子医療センター等の連携病院の医師・助産師が出産に対応する仕組みをいいます。
セルフメディケーション	自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすることをいいます。
専攻医	新専門医制度において、専門医研修プログラムに登録し、専門医の取得に向けて研修中の医師をいいます。

臓器移植コーディネーター	臓器移植が公平・迅速に行われるために必要なさまざまな業務を24時間体制でサポートする人です。移植希望者や臓器提供情報の管理から社会（病院等の施設も含む）への臓器移植に関する普及啓発活動まで、移植に関わる多くの実務を行います。
早期新生児死亡率	出生数千あたりの生後7日未満の新生児の死亡数をいいます。
総合周産期母子医療センター	母体・胎児集中治療室（MFICU）を6床以上、新生児集中治療室（NICU）を9床以上有するなど、相当規模の産科病棟や新生児病棟を備え、常時の母体および新生児搬送受入体制を有して、合併症妊娠、重症妊娠高血圧症候群、切迫早産、胎児・新生児異常等、母体または子どもにおけるリスクの高い妊娠に対する医療、高度な新生児医療等の周産期医療を行える医療施設をいいます。
総合診療医	日常的に頻度が高く、幅広い領域の疾病と傷害等について、適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズをふまえた疾病の予防、介護、看取りなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、人びとの命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応できる医師をいいます。
増殖前網膜症	糖尿病により、血管が詰まって、網膜の一部に血液が流れていない虚血部分が生じてきた段階をいいます。そのまま放置すれば次の増殖網膜症に進行します。
増殖網膜症	糖尿病により、網膜に虚血部分が生じた部分に酸素や栄養を何とか送り込もうと、新しい血管（新生血管）が伸びてくる段階をいいます。新生血管はもろいので出血しやすく、視力に大きな影響を与えます。
措置入院	精神保健福祉法に基づき2人以上の精神保健指定医の診察の結果、医療および保護のために「入院させなければ精神障がいのために自身を傷つけ又は他人に害を及ぼすおそれがある」と認めることについて、各指定医の診察結果が一致した場合、知事または指定都市の市長が精神科病院に入院させることをいいます。
た	
ターミナルケア	余命わずかな方が人生の残り時間を自分らしく過ごし、満足して最後を迎えられるように、本人や家族の希望に沿って、苦痛などを緩和し、精神的な平穏や残された生活の充実などを支援することをいいます。
ターミナルケア加算	在宅で死亡した利用者に対して、その死亡日および死亡日前14日以内に2日以上訪問診療等を行った場合に算定できる加算です。
退院時共同指導	入院患者が在宅療養に移行する際に、患者や家族に対して、入院医療機関と在宅療養担当医療機関が、共同して指導や文書による情報提供を行うことをいいます。
退院療養計画書	退院時に交付・説明に努めることとされている、退院後の療養に必要な保健医療サービスまたは福祉サービスに関する事項を記載した書面をいいます。
代診医	医療機関に勤務する医師が研修・休暇等で勤務地を一時的に離れる場合に、臨時で代替勤務をする医師のことです。

地域医療連携推進法人	地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するため、病院等に係る業務の連携を推進するための方針を定め、医療連携推進業務を行う一般社団法人として、都道府県知事から認定（医療連携推進認定）を受けた法人をいいます。複数の医療機関等が法人に参画することにより、競争よりも協調を進め、地域における質が高く効率的な医療提供体制の確保につなげます。
地域周産期母子医療センター	産科および小児科（新生児医療を担当するもの）等を備え、周産期に係る比較的高度な医療を行うことができる医療施設をいいます。
地域包括ケアシステム	団塊の世代が75歳以上となる令和7（2025）年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制をいいます。
地域包括支援センター	介護保険法で定められた、高齢者等の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関のことをいいます。
地域連携クリティカルパス	急性期病院から回復期病院を経て早期に自宅に帰れるような診療計画（クリティカルパス）を作成し、治療を受ける全ての医療機関で共有して用いるものをいいます。
地域枠	地域医療に従事する医師を養成することを主たる目的とした学生を選抜する枠です。地元出身者、もしくは全国より選抜され、卒業後、当該都道府県内で9年以上従事するなどの従事要件があります。本県においては、三重大学医学部医学科の推薦入学枠である地域枠A、地域枠B、一般入学枠である地域医療枠があります。
チャイルド・デス・レビュー（CDR）	子どもの死亡に関する効果的な予防策を導き出すことを目的に、複数の関係機関・専門家（医療、警察、教育その他）が、死亡した子どもの既往歴、家族背景、死亡原因等に関する情報をもとに行う検証をいいます。 ※CDR：Child Death Reviewの略。
治療抵抗性統合失調症治療薬	複数の抗精神病薬を十分な量、十分な期間用いても症状が消退しない、あるいは副作用のために服薬継続が難しく、十分に改善しない統合失調症を「治療抵抗性統合失調症」といいますが、これらに適応がある薬のことをいいます。
テスラ	磁力の単位で、数字が大きいほど磁力線が密集し、磁力が強いことを意味します。磁力が大きいMR Iほど画質の高い画像が得られます。
電子カルテシステム	紙のカルテを電子的なシステムに置き換え、電子情報として編集・管理し、データベースに記録する仕組みをいいます。
統括保健師	個人および地域全体の健康の保持増進に向けてさまざまな活動を効果的に実施するため、保健師の保健活動を組織横断的に総合調整および推進し、人材育成や技術面での指導および調整を行う保健師のことです。
糖尿病性神経障害	高血糖の状態が長く続くことで、足や手の末梢神経に障がいがあり、手足のしびれや筋力の低下等のさまざまな症状を引き起こす疾患をいいます。

糖尿病性腎症	高血糖の状態が長く続くことで、腎臓の糸球体の毛細血管に障がいがあり、徐々に尿が作れなくなる疾患をいいます。
糖尿病性腎症重症化予防プログラム	糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関の未受診者・受診中断者に、受診勧奨や保健指導を行い治療に結び付けるとともに、重症化するリスクの高い人に対して保健指導を行い、人工透析等への移行を防止することを目的として、行政や保険者、医療関係者等とが連携・協力して行う基本的な方策を示すものです。
糖尿病足病変	高血糖の状態が長く続くことで、足の神経障害や血流障害により、潰瘍や壊疽が起こった状態をいいます。
糖尿病網膜症	高血糖の状態が長く続くことで、眼の底にある網膜の血管に障がいがあり、視力の低下を招き、最悪の場合は失明の原因となる疾患をいいます。
糖尿病療養指導士	糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識を持ち、医師の指示のもと、患者に療養指導を行うことのできる、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士をいいます。
糖尿病連携手帳	日本糖尿病協会が発行し、糖尿病患者に配布されている血糖値やHbA1cなどの情報を記録することができる自己管理ツールです。また、医療スタッフが手帳に所見やコメントを記入することで、患者を中心とした医療連携を図るツールとしても活用されます。
ドクターヘリ	医療機器を装備し、救急医療の専門医・看護師が搭乗した専用ヘリコプターをいいます。
特定給食施設	特定かつ多数の人に対して継続的に食事を供給する施設のうち栄養管理が必要なもので、1回100食以上または1日250食以上の食事を提供する施設です。
特定健康診査	平成20(2008)年4月から保険者(国民健康保険、被用者保険)に義務づけられた、40～74歳の被保険者・被扶養者を対象とした健康診査をいいます。
特定行為研修	医師等の判断を待たずに、手順書により一定の診療の補助を行う看護師の養成を目的として、特に必要とされる高度かつ専門的な知識および技術の向上を図るための研修です。
特定保健指導	特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して、保健師や管理栄養士などが行う生活習慣を見直すための支援のことをいいます。発症リスクに応じ、「動機付け支援」や「積極的支援」などの方法で行います。
特別管理加算	医療的に特別な管理を必要とする利用者に対して、計画的な管理を行った訪問看護事業所に対する加算です。
特別管理体制	特別管理加算を算定するための要件である、24時間常時連絡できる体制や対応可能な職員体制・勤務体制、医療機関等との密接な連携体制のいずれも整備している体制のことをいいます。

な

ナースセンター	「看護師等の人材確保の促進に関する法律」（平成4年法律第86号）に基づき、都道府県ごとに1つに限り知事が指定するものです。看護師等の無料職業紹介や再就業支援、潜在看護師等の把握、看護に関する普及事業等を行います。
ナースバンク	都道府県ナースセンターが実施する看護師等の無料職業紹介事業です。求人求職登録や職業紹介、就業相談等を行います。
二次救急	入院や手術が必要であり、おおむね救急医療圏内での治療が可能なレベルの医療をいいます。
24時間対応体制加算	電話等により看護に関する意見を求められた場合に常時対応でき、緊急時の訪問看護を必要に応じて行える体制にあり、利用者の同意を得てその体制を実施した訪問看護事業所に対する診療報酬の加算です。
入院診療計画書	入院時に交付・説明が行われる、患者の情報や傷病名・症状、入院中の検査・手術に関する計画等を記載した書面をいいます。
乳児	生後0日から満1歳未満までの子をいいます。
任意入院	精神保健福祉法に基づき、精神障がい者本人の同意に基づいて、精神科病院へ入院する形態のことをいいます。
妊産婦死亡率	出産10万あたりの妊娠中または妊娠終了後満42日未満の女性の死亡数をいいます。
認知症サポート医	認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる医師をいいます。
年齢調整死亡率	年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整し、そろえた死亡率をいいます。
年齢調整受療率	年齢構成の異なる地域間で受療状況の比較ができるように年齢構成を調整し、そろえた受療率をいいます。

は

バディホスピタルシステム	本県における都市部の医療機関から医師不足地域の医療機関に医師を派遣する制度をいいます。
バリアフリー	障がいのある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去することをいいます。もともと住宅建築用語で登場し、段差等の物理的障壁の除去を指すことが多いですが、より広く障がいのある人の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的な全ての障壁の除去という意味でも用いられます。
ピアサポーター	当事者としての経験を生かし、同じ問題を抱える人を仲間の立場で支援する人です。
光凝固療法	破れやすい新生血管網を、レーザー光によって凝固させることで安定させる治療法です。

ヒヤリ・ハット	突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハットとしたりするもので事故一步手前の事例をいいます。現場ではヒヤリ・ハットの情報を公開させ、蓄積、共有することで、重大な事故等の発生を未然に防止する活動が行われています。
病院	医師または歯科医師が、医業または歯科医業を行う施設で、20床以上の入院設備を備えるものをいいます。
病院群輪番制	救急車による搬送等、重症患者の受け入れを中核的な病院が輪番で行う制度をいいます
病診連携	病院と診療所が連携して医療を提供する体制をいいます。
病病連携	病院同士が連携して医療を提供する体制をいいます。
不育症	妊娠はするものの、流産や死産あるいは早期新生児死亡（生後7日未満で新生児が死亡すること）を繰り返し、結果的に子どもを持たない場合をいいます。
フォーマルサービス	公的機関や専門職による制度に基づく要介護者等に対するサービスをいいます。
プライマリ・ケア	身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療のことをいいます。
プライマリ・ケアエキスパートナース	身近にあって何でも相談にのり、総合的な看護を提供し、多職種と連携しながら地域に貢献できる高度な知識・技術・態度を修得した看護師のことです。
プレコンセプションケア	女性やカップルを対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取組をいいます。
プレホスピタル・ケア	病院に到着するまでに傷病者に対して救急救命士が行う救急救命処置、救急現場での住民による応急手当等をいいます。
プロトコル	あらかじめ定められている規定、手順、試験/治療計画などのことをいい、救急医療においては、救命時の手段等について定めた手順等をいいます。
へき地医療機関	へき地にある病院および診療所（へき地診療所を含む）をいいます。
へき地医療拠点病院	無医地区および無医地区に準じる地区を対象として、へき地医療支援機構の指導・調整のもとに、巡回診療、へき地診療所等への代診医派遣などの医療活動を継続的に実施できると認められる病院をいい、知事が指定します。
へき地医療支援機構	国の「第9次へき地保健医療計画」に基づき各県に設置することが求められている機関で、本県では平成15（2003）年度より、「三重県へき地医療支援機構」を県庁内に設置し、専任担当官（へき地での勤務経験を有する医師）を配置してへき地医療対策の各種事業を円滑かつ効果的に実施しています。
へき地診療所	原則として人口1,000人以上の無医地区等において、住民の医療確保のため市町等が開設する診療所をいいます。
訪問看護	看護師等が居宅等を訪問して、療養上の世話または必要な診療の援助を行うことをいいます。

ま

訪問診療	医師が定期的に居宅等を訪問して診察し、健康管理を行うことをいいます。
マッチング	求人と求職、需要と供給などのお互いの条件を調整し組み合わせることをいいます。
マルチスライスCT	2つ以上のX線検出器を用いて、臓器の立体的な画像を撮影する装置をいいます。
慢性期	病気の急性期を過ぎて、症状・徴候は激しくないものの、治癒することが困難な状態が長期間にわたって持続する時期をいいます。
みえ医師バンク	求人情報や病床数、診療科、取得できる専門医資格などの基本情報を掲載した、三重県が設置する医療機関のデータベースサイトです。
三重県医師修学資金貸与制度	県内の地域医療を支える若手医師の育成・確保を目的として、医学生を対象に修学資金を貸与する制度です。卒後にキャリア形成プログラムに基づき県内の指定する医療機関に勤務することで返還免除となります。
三重県医療勤務環境改善支援センター	「医療法」に基づき、医療従事者の勤務環境改善に係る拠点機能の確保を目的として、都道府県が設置に努めなければならないとされた組織をいいます。本県では、平成 26 (2014) 年 8 月に全国で 3 番目に設置しました。
三重県新生児ドクターカー (すくすく号)	ドクターカーとは、「緊急度・重症度の高い患者を病院外で診療するため、診療に必要な医療機器・医薬品等を搭載し、医師が搭乗した緊急自動車。傷病発生現場への出動、施設間搬送などに用いる」と定義されています。「すくすく号」は本県で整備されている新生児ドクターカーで、三重中央医療センターで運用しています。
三重県地域医療研修センター (ME T C H)	医学生・研修医に対して、地域医療に関する実践的な研修を提供し、将来的に地域医療を担う医師を育成するため、平成 21 (2009) 年 4 月に三重県が紀南病院内に開設した研修センターです。 ※ME T C H : Mie Education and Training Center for Community Health の略。
三重県地域医療支援センター	平成 24 (2012) 年 5 月、県内の医師の地域偏在の解消等を目的に、県庁内に設置し、あわせて分室を三重大学内に設置しました。県内の医療機関や医師会、市町、三重大学等と連携して、若手医師のキャリア形成支援と医師不足病院における医師確保支援を一体的に行う仕組みづくり等の取組を進めています。
みえ子ども医療ダイヤル (#8000)	子どもの急な病気や事故、薬に関する心配について、医療関係の専門相談員が電話相談に応じる事業です。
三重大学医学部医学・看護学教育センター	三重大学における医学部の学生を対象に、学生教育 (企画調査、学生支援、国際交流、地域医療教育など) を担当するセクションです。
みえ地域医療メディカルスクール	県内の地域医療に従事する人材を育成するため、医療関係分野への進学をめざす生徒を対象に地域医療現場を学ぶ機会を設ける県主催のセミナーです。

みえ歯一トネット	障がい児・者の歯科治療等に取り組む歯科医療機関と三重県歯科医師会障害者歯科センターの連携により、地域で安心して歯科受診できるよう支援するネットワークのこと。
みえ8020推進ネット	三重県で活躍する歯科衛生士の確保と資質の向上を図ることを目的に、三重県在住・在勤の歯科衛生士の登録を行う事業のこと。
三重L-DMAT隊員	三重県が主催する厚生労働省の認定を受けたDMAT研修を修了し、三重県知事に任命されたDMAT隊員です。
無医地区に準じる地区	無医地区には該当しないが、知事が厚生労働大臣に協議を行い、これに準じた医療の確保が必要と認めた地区をいいます。
無医地区・無歯科医地区	厚生労働省の定義によるもので、医療機関のない地域で当該地区の中心的な場所を起点としておおむね半径4kmの区域内に50人以上が居住している地域であって、かつ容易に医療機関を利用することができない地区をいいます。
無歯科医地区に準じる地区	無歯科医地区には該当しないが、知事が厚生労働大臣に協議を行い、これに準じた医療の確保が必要と認めた地区をいいます。
メディカルコントロール体制	救急救命士等が行う救急救命処置等の活動を医師の指示のもとで行うとともに、その処置内容等に関して、医師等による事後検証を行うことにより質の向上を図っていく体制のことをいいます。
モバイルファーマシー	調剤機能を搭載した機動力のある災害対策医薬品供給車両で、調剤棚、分包機等の調剤設備に加え、ポータブル発電機、給水タンク等を搭載しており、電力や給水の途絶えた被災地でも自立的に調剤作業や医薬品の交付等を行うことができます。
や	
薬剤耐性	特定の種類の抗菌薬や抗ウイルス薬等が効きにくくなる、または効かなくなることです。
薬薬連携	病院薬剤師と薬局薬剤師が連携して患者の情報を共有し、安心できる薬物療法を継続して提供する体制をいいます。
ユニバーサルデザイン	「すべての人のためのデザイン」を意味し、障がいの有無や年齢、性別等に関わらず、最初からできるだけ多くの人利用可能であるように施設、製品、制度等をデザインすることをいいます。
幼児死亡率	幼児（1歳から4歳）人口千あたりの幼児の死亡数をいいます。
ら	
ライフコース	現在の健康状態は、これまでの自らの生活習慣や社会環境等の影響を受ける可能性や次世代の健康にも影響を及ぼす可能性があることから、胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的にとらえた概念です。
ライフステージ	人間の一生において、年齢に伴って変化する段階（幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期など）のことをいいます。
流出率	当該地域内に居住する推計患者数のうち、当該地域外の医療機関で診療を受けた患者の割合です。

流入率	当該地域内の医療機関で診療を受けた推計患者数のうち、当該地域外に居住する患者の割合です。
療育	障がい児の社会的自立をめざした医療と教育をいいます。
療養病床	長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための病床です。
臨床研修病院	診療に従事しようとする医師が、医師免許取得後受けることとなる臨床研修において、基本的な診療能力を身につけるための研修を提供することができる、都道府県知事の指定を受けた病院です。
レスパイト	施設への短期入所等により、乳幼児、障がい児・者、高齢者等の本人や、その方を在宅でケアしている家族のための休息のことをいいます。
レスパイトケア	乳幼児や障がい児・者、高齢者等の本人や、在宅でケアしている家族を癒やすため、施設への短期入所等により一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう支援サービスです。
レセプト	患者が受けた診療に対して医療機関が保険者に請求する診療(調剤)報酬明細書のこと、診療内容や処方(調剤)した薬の費用等が記載されています。
老人福祉圏域	介護保険事業支援計画・高齢者福祉計画において、介護給付費等対象サービスの種類ごとの量の見込みを定めるために都道府県が設定する単位(圏域)をいいます。本県では、二次医療圏と同じ圏域を設定しています。

A

A C P	Advance Care Planning の略で、もしものときのために、ご本人が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組・人生会議のことをいいます。
A D L	Activities of Daily Living (日常生活動作) の略で、日常生活を営む上で必要な行為、行動のことです。具体的には、食事や排泄、整容、移動、入浴等、基本的な行動をいいます。
A E D	Automated External Defibrillator (自動体外式除細動器) の略で、必要に応じて自動的に電気ショック(除細動)を与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器です。

B

B C P	Business Continuity Planning (業務継続計画) の略で、災害などリスクが発生したときに重要業務が中断しないように、目標復旧時間内に重要な機能を再開させ、業務中断に伴うリスクを最低限にし、平時から事業継続について戦略的に準備しておく計画です。
-------	--

C

C D R	→ チャイルド・デス・レビュー
-------	-----------------

CKD Chronic Kidney Disease (慢性腎臓病) の略で、腎臓の働きが健康な人の 60%以下に低下する、あるいはタンパク尿が出るといった腎臓の異常がつづく状態をいいます。

COPD Chronic Obstructive Pulmonary Disease (慢性閉塞性肺疾患) の略で、たばこの煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露(ばくろ) することで生じた肺の炎症性疾患をいいます。

CT Computed Tomography (コンピューター断層撮影) の略で、X線管球が身体の周りを回転して、360° 方向から収集された情報を集め、その情報をコンピュータ解析し、身体のあらゆる部位の輪切りの画像を作る装置です。

D

DHEAT Disaster Health Emergency Assistance Team (災害時健康危機管理支援チーム) の略で、災害時、被災都道府県の保健医療福祉調整本部および被災都道府県等の保健所が行う被災地方公共団体の保健医療行政の指揮調整機能等を応援する、専門的な研修・訓練を受けた都道府県等の職員により構成する応援派遣チームのことです。

DMAT Disaster Medical Assistance Team (災害派遣医療チーム) の略で、大地震および航空機・列車事故等の災害時や、新興感染症等のまん延時に、地域において必要な医療提供体制を支援し、傷病者の生命を守るため、厚生労働省の認めた専門的な研修・訓練を受けた医療チームのことです。

DPAT Disaster Psychiatric Assistance Team (災害派遣精神医療チーム) の略で、自然災害や犯罪事件・航空機・列車事故等の集団災害が発生した場合に、被災地域の精神保健医療ニーズを把握し、専門性の高い精神科医療の提供と精神保健活動の支援を行うため、専門的な研修・訓練を受けた精神医療チームのことです。

DPC Diagnosis Procedure Combination (包括評価制度) の略で、「診断病名」と「診療行為」との組み合わせによる分類をもとに、1日あたりの定額医療費が決められる診療報酬の包括評価制度をいいます。

E

EMIS Emergency Medical Information System (広域災害救急医療情報システム) の略で、被災した都道府県を越えて医療機関の稼働状況、医師・看護師等の医療従事者の状況、ライフラインの確保、災害医療に係る総合的な情報を共有するためのシステムです。

EPDS → エジンバラ産後うつ病自己質問票

G

GCU Growing Care Unit (新生児治療回復室) の略で、出生時・出産後に生じた問題が解決・改善した新生児の経過を観察する施設です。

H

H b A 1 c

赤血球の蛋白であるヘモグロビンとブドウ糖が結合したグリコヘモグロビンのうち、糖尿病と密接な関係を有するものをいいます。患者の過去1～2か月の平均血糖値を反映する指標であり、血糖コントロールの指標として用いられます。

I

I A D L

Instrumental Activities of Daily Living (手段的日常生活動作) の略で、日常生活を送る上で必要な動作のうち、ADLより複雑で高次の動作をいいます。例えば、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理、服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどです。

I C T

Information and Communication Technology (情報通信技術) の略で、情報・通信に関連する技術一般の総称です。

J

J D A T

Japan Dental Alliance Team (日本災害歯科支援チーム) の略で、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援する応援派遣チームのことです。

J M A T

Japan Medical Association Team (日本医師会災害医療チーム) の略で、被災地の支援に入り、現地の医療体制が回復するまでの間、地域医療を支えるために日本医師会により組織される応援派遣チームです。

M

M F I C U

Maternal-Fetal Intensive Care Unit (母体・胎児集中治療室) の略で、前置胎盤や重い妊娠高血圧症候群など、リスクの高い母体・胎児に対応するための設備を備えた治療室です。

M M C 卒後臨床研修センター

臨床研修医や指導医、臨床研修病院等を対象として、臨床研修を円滑に行うための事業を実施することを目的に、県内の関係医療機関が共同で設立したNPO法人です。
※MMC：Mie Medical Complex の略。

M R I

Magnetic Resonance Imaging system (磁気共鳴画像装置) の略で、磁気と電磁波および水素原子の動きを利用して、体の断面を撮影する装置です。

N

N D B

National Data Base の略で、厚生労働省が「高齢者の医療の確保に関する法律」(昭和57年法律80号)に基づき、レセプト情報(診療報酬明細書)、特定健康診査および特定保健指導の実施状況その他の同法で規定する医療保険等関連情報を個人の特定ができない形で収集し、匿名化したデータベースです。

N I C U

Neonatal Intensive Care Unit (新生児集中治療室) の略で、早産などによる低体重児や先天性の重い病気を持つ新生児を受け入れ、専門医療を24時間体制で行う治療室をいいます。

O

O G T T

Oral Glucose Tolerance Test（経口ブドウ糖負荷試験）の略で、糖尿病の診断方法の一つとして、糖尿病が疑われる患者に対し、短時間に一定量のブドウ糖水溶液を飲んでもらい、一定時間経過後の血糖値の値から、糖尿病を診断する方法です。

P

P E T

Positron Emission Tomography（陽電子放出断層撮影）の略で、放射線を出す検査薬を注射し、その薬が発する放射線を特殊なカメラを使って外部から検出し画像化する装置です。

P E T - C T

診断の精度を向上させるためにP E TとC Tを組み合わせた装置です。

Q

Q O L

Quality of Life（生活の質）の略で、人間らしく、満足して生活しているかを評価する概念です。

S

S C U

Staging Care Unit（広域搬送拠点臨時医療施設）の略で、広域搬送拠点に搬送された患者を被災地域外へ搬送するにあたり、長時間の搬送に要する処置等を行う臨時医療施設のことです。

S P E C T

Single Photon Emission Computed Tomography（単光子放射線コンピュータ断層撮影）の略で、体内に注入したR I（放射性同位元素）の分布状況を断層画面で見る装置です。